

■ 豚

現状と課題

- 家畜伝染性疾病による遺伝資源喪失リスクが高まっており、食料の安全保障の観点からも **国内で遺伝資源を確保し、純粋種豚の改良体制を維持**していくことが重要。
- **産肉能力**については、我が国で求められているニーズに対応しつつ食味も含めた**肉質の更なる改良**が必要。
- **コスト削減に資する改良や衛生管理の取組**を推進する必要。

主な方向性(案)

【能力に関する目標】

- 繁殖能力 **1腹当たり育成頭数の向上**に着目した改良を進める。
- 産肉能力 **肢蹄の強健性**や他の産肉形質への影響を考慮しつつ**増体性に着目した改良**を進めるとともに、**デュロック種においては、ロース芯への脂肪交雑の高い集団の作出・利用**を推進。
- 体型 **肢蹄に関する評価指標**については、普及に向けた**データの収集・分析**や**改良現場での活用**を推進。

【能力向上に資する取組】

- 改良手法 改良体制の強化を通じて、**純粋種豚の多様性を維持**しつつ、**能力向上と優良な育種素材の活用**を推進。
- 飼養管理 **AW指針に配慮した飼養管理**や、**ICT技術等を活用した飼養管理**の実施。
- 衛生管理 **グループ生産システム等**を活用した**オールイン・オールアウトの導入等**の推進。

